

量

類型論は質

# パーソナリティ特性論

イギリス・アメリカで発達

## 因子分析

似たようなものを集める

すべてのパーソナリティ  
これらで構成される

## キャッテルの特性論

12の根源特性

心理療法の元

心理テスト

躁うつ気質—分裂気質

支配性—服従性

積極性—消極性

解釈に主観のまじる恐れ  
あり

オールポート  
ギルフォードも  
特性論

特性論→一貫して見ら  
れる特有な傾向

ドイツ流類型論とイギリス流の  
統計学的方法の融合

## アイゼンクの特性論

実験的研究による行動療法

学習理論 (条件づけの理論をも  
とにした行動療法) →発展

外向性—内向性と神経症の2因子

神経症的傾向の内向性の者

神経症的傾向の外向性の者

## 5因子論 (ビッグファイブ)

現在、最も注目されている

①外 向 性

②協 調 性

③良心性 (誠実性)

④情緒的安定性

⑤文 化